



立花山絵図「立花家史料館所蔵・柳川古文書館寄託」

立花城

立花城は南北朝時代、豊後（現在の大分県）大友氏の一族、大友貞載により築かれたと伝えられています。貞載の子孫はこの城を拠点とし、立花を名乗り、豊後より同じ大友氏の一族、戸次鑑連（道雪）その養子、統虎（宗茂）が立花の名を引き継ぎます。

1587年（天正15年）に豊臣秀吉が九州を平定。その後新たに筑前国の大名となった小早川隆景の下で、立花城は名島の支城として利用され、1600年（慶長5年）、黒田氏が筑前に入国した後、廃城となりました。

立花山南麓の香椎は博多にもほど近く、立花城は度々戦乱の舞台となり、現在もなお、山頂から山腹一帯にかけて、往時の城郭の痕跡を見出すことができます。

戦国時代に多くの攻防を繰り広げた立花城

立花宗茂

1569年（永禄12年）～1642年（寛永19年）江戸時代初期の大名。幼名千熊丸。初め高橋統虎を称した後に宗茂と改め、筑前立花城主、立花道雪の養子となりました。1586年（天正14年）、九州を制覇した島津軍を立花城に防ぎ、翌年、豊臣秀吉の島津征伐に従軍し、その働きにより、筑後山門、下妻、三池、三池4郡のうち13万2200石を賜わり、筑後柳川藩の始祖となった人物です。

1600年（慶長5年）、関が原の戦いで西軍に味方したために改易となりましたが、1620年（元和6年）、柳川に再度入封して筑後下5郡10万9600石を領地としました。1637年（寛永14年）の島原の乱には、子の忠茂と共に従軍し功をたて、1642年（同19年）江戸にて生涯を閉じました。



関千代肖像・良清寺蔵 画像提供：立花家史料館

立花城にも「おんな城主」がいた！

NHK 大河ドラマ「おんな城主直虎」が平成29年に放送されましたが、立花城にも「おんな城主」がいたことはご存じでしょうか？

時は戦国時代、戸次鑑連（＝立花道雪として知られる）の娘として生まれた「立花関千代」です。

道雪に男子の跡継ぎがいなかったため、7歳で立花城督になり、13歳で高橋統虎（後の立花宗茂）と結婚するまで城督をつとめました。

父の道雪は、大友宗麟に仕えた武将として有名ですが、娘の関千代もさぞ勇敢な姫であったことでしょう。豊臣秀吉をして「西国無双」と言わしめた武將の夫宗茂に従い、柳川、熊本へ移り、34又は35歳で亡くなったと言われています。



立花山・三日月山とその周辺の植物と昆虫



樹木



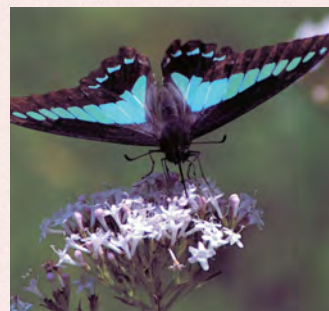
クスノキ（通年）

植物



オドリコソウ（2月～5月）

昆虫



アオスジアゲハ（5月～9月）



ヤブツバキ（12月～3月）



オニユリ（7月）



ゲンジボタル（5月下旬～6月）

*写真提供 福田 勉さん（東区美和台）、湖尻 浩子さん（東区高美台）

立花山・三日月山の自然を紹介したパンフレットです



「Nature」立花山・三日月山の自然

*東区役所（企画振興課）で配布しています

東区みどころ情報



1 潮見公園・下馬ヶ浜

【交通】 勝馬バス下車徒歩30分
潮見公園は標高170メートルにある公園です。展望台からは、眼下に博多湾・福岡市街、遠くには青い山脈の山々など360度の眺望が楽しめます。潮見公園では立花山から上る朝日が、下馬ヶ浜では海に沈む夕日が、それぞれの魅力を強調しています。

2 海の中道海浜公園

【交通】 海ノ中道駅（JR）下車1981年に開園し、海の中道一帯に広がる大規模な国営公園です。広大な敷地は自然の生態系を尊重して、緑と調和した広場や池、さまざまな遊具があちこちに配置されています。海の鳥を感じながら四季折々の自然が楽しめる場所です。

3 アイランドシティ中央公園

【交通】 アイランドシティ中央公園下車
福岡市東区のアイランドシティの「まちづくりエリア」に位置し、自然環境との共生や美しい町並み形成、防災拠点、自然との触れ合いの場となる総合的な公園として整備されました。

4 和白干潟

【交通】 和白駅（JR・西鉄）下車徒歩15分
博多湾の東部にある約80ヘクタールの干潟で、貝・カニなどの底生生物が豊富に生息しています。冬になると、カモやシギチドリなどの渡り鳥の飛来地としても有名です。身近な親水空間として、夏には潮干狩り、冬にはバードウォッチングを楽しむ市民の姿が見られます。

5 御島グリーンベイウォーク（愛称）

【交通】 香椎浜北公園前バス下車
あいたが橋、アイランドシティ外周緑地、香椎海岸、香椎浜北公園からなる1周3kmの回廊コースです。海上の御島神社の鳥居からは歴史が感じられ、自然観察やウォーキングなどを楽しむことができます。

6 長谷谷ダム

【交通】 オークタウン入口バス停下車徒歩30分
1993年に完成した長谷谷ダムは、豊かな自然に囲まれています。立花山・三日月山のあふれる緑と、長谷谷ダムの水の色に映える三日月橋の鮮やかな赤が大変印象的です。休日には家族連れでにぎわう芝生広場もあり、市民の憩いの場として親しまれています。

各登山口までの交通アクセス

立花山へ

バスで	電車で	車で
西鉄バス 「天神中央郵便局前」 23番に乗車 約45分 「下原」バス停下車 すぐ→登山口A	JR 西鉄 「香椎駅」 西鉄バス 「西鉄香椎駅前」 23番乗車 約10分 「下原」バス停下車 すぐ→登山口A	福岡都市高速 「香椎IC」 国道3号線方面へ 立花山登山口 登山口A
*お近くのコインパーキングをご利用下さい。		

三日月山へ

バスで	電車で	車で
西鉄バス 「天神中央郵便局前」 23番に乗車 約40分 「オークタウン入口」バス停下車 徒歩30分 登山口B	JR 西鉄 「香椎駅」 西鉄バス 「西鉄香椎駅前」 23番乗車 約5分 「オークタウン入口」バス停下車 徒歩30分 登山口B	福岡都市高速 「香椎IC」 国道3号線方面へ 三日月山登山口、長谷谷ダム 登山口B



近い!満足!森林浴!

立花山 三日月山 登山マップ

HIGASHI WARD, FUKUOKA



立花山・三日月山保全ボランティア「楽友会」

立花山・三日月山の自然を後世に残すため、また安全に登山を楽しんでいたため、登山道の整備や竹林の伐採整備など環境保全に取り組んでいます。

定期的（月2回）に活動しています。
*ボランティアは随時募集しています。
*詳細は下記までお問い合わせ下さい。



発行者

福岡市東区役所企画振興課
〒812-8653 福岡市東区箱崎2丁目54番1号
TEL：092-645-1037
FAX：092-651-5097
発行：令和2年2月

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/higashi/>



立花山

福岡市東区と糟屋郡新宮、久山両町の境に位置し、標高367mとあまり高くはありませんが、立花丘陵部の主峰で、博多湾を眼下にのぞむそのすっきりとした容姿は、秀峰の名に恥じない山です。

南方尾根沿いに三日月山、北方尾根沿いに松尾岳から白岳へ、また海上からはこの二つの山だけが見えるので古くは二神山と呼ばれていました。

立花城は1334年（建武元年）、戦国時代に大友貞戦が築き「筑前の要塞」といわれました。250年後、ここで島津勢との攻防で奮戦した立花宗茂の武名を高らしめましたが、小早川隆景、黒田長政が筑前に入るとともに廃城となり、今では当時の石垣が数ヶ所残っているだけとなっています。

なお、旧暦の12月22・23日頃は月の形は三日月ではありません。半月です。

三日月山

標高272m。頂上には樹木がなく、ほぼ360度の見晴らしはとても素晴らしく、天智天皇の時代の防人の陣屋跡といわれ、立花城時代には、平陣屋があったことにより、別名「陣山」とも呼ばれています。

立花山より三日月山へのハイキングコースは手頃で、元旦は、初日の出の参拝登山客で賑わいます。

また伝説によると、旧暦の12月22・23日頃に、頂上から見る月が3つに見えるときがあるというので、三日月山の名がついたと言われている。

なお、旧暦の12月22・23日頃は月の形は三日月ではありません。半月です。



親しみやすい 立花山・三日月山

素晴らしい山頂からの眺望と、道のりがゆるやかで登りやすい両山は、小さなお子様から高齢の方にも広く愛されています。

また、福岡市中心部からも近いので、1日もあれば余裕をもって両山を巡ることができるのも大きな魅力です。

《立花山山頂》

アイランドシティや香椎、海の中道から志賀島への風景などを眺めることができます。標高367mからの眺望は絶景です。



《三日月山山頂》

標高272m360度の眺望は素晴らしいの一言。福岡市、新宮町、久山町方面を見渡せます。また、明け方や夕方の景色もおおすすめです。



登山の心構え

- 立花山・三日月山の登山道には歩きづらい箇所がありますのでご注意ください。
- 天候や体力、時刻なども考慮し、登山を計画するようにしましょう。
- 少しでも体に異変を感じたときは登山を控えるようにしましょう。
- 歩行のペースには個人差があります。無理をせずマイペースで登りましょう。
- 自然に親しみ、自然を大切にしましょう。
- 珍しいからといって動植物を持ち帰るなど自然の生態系を壊す行為は慎みましょう。
- 危険生物（スズメバチ・ヘビ・マダニなど）に注意し、むやみに藪（やぶ）に入らないようにしましょう。
- ゴミは捨てずに持ち帰るとともに、食べ残しを山に捨てることは野生動物（イノシシ、シカ、サルなど）への餌付け行為となり、人的被害につながるおそれがあるため、絶対にしないようにしましょう。
- 火の取扱いには十分に注意しましょう。



バス停留所



トイレ



駐車場



自動販売機

※図中、◀00分▶の表示は、徒歩でのおおよその所要時間です。

※登り・下りの時間表示には個人差があります。



※一般的な登山ルートのみ記載しています

白岳・松尾岳ルート



分岐点

左折：鷲尾大権現
直進：大権現登山道



立花山登山道案内



立花山登山道案内



分岐点

- ・三日月霊園方面
- ・至三日月山800m
- ・至下原700m



三日月山・立花山登山道案内

